



# 三菱電機 パッケージエアコン別売部品 「ヘルスエアー機能」搭載クリーンユニット PAC-SK61HAU 据付工事説明書

(室内ユニット本体、化粧パネル、併用する別売部品の据付工事説明書を併せてお読みください)

## 安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



### 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



### 注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方などを説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



## 警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
また、途中接続は絶対に行わない。

- 接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

改造は、絶対にしない。

- 修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。  
改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に進行。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に進行。

- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

台風などの強風・地震に備え、所定の据付工事を行う。

- 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。

- 据付けに不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。  
お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー(パネル)を確実に取付ける。

- 端子盤カバー(パネル)取付けに不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災などの原因になります。

別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。

- 取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

## 据付けをする前に(環境)

精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

- 保存物の品質低下などの原因になります。

次の場所への据付けは、避ける。

- ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- ・機械油を使用するところ
- ・車両・船舶など移動するものへの設置
- ・高周波を発生する機械を使用するところ
- ・化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ・海浜地区など塩分の多いところ
- ・積雪の多いところ

- 性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。



## 注意

濡れて困るものの上にユニットを据付けない。

- 湿度が80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。  
また、暖房時には室外ユニットよりドレンがたれますので、必要に応じ室外ユニットの集中排水工事をしてください。

病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。

- インバーター機器・自家発電機 高周波医療機器 無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になります。

## 据付け(移設)工事をする前に



## 注意

製品の運搬は、十分注意して行う。

- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

ユニットは必ず左右水平に据付けること。

- 据付けに不備があると露たれ・騒音の原因になります。

エアコンを水洗いをしない。

- 感電・発火の原因になります。

梱包材の処理は、確実に行う。

- 梱包材には「クギ」などの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをするおそれがあります。

## 電気工事をする前に



## 注意

電源配線は、張力が掛からないように配線工事をする。

- 断線したり、発熱・火災の原因になります。

アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

## 試運転をする前に



## 注意

パネルやガードを外した状態で運転をしない。

- 機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

運転中の冷媒配管に素手で触れない。

- 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になります。

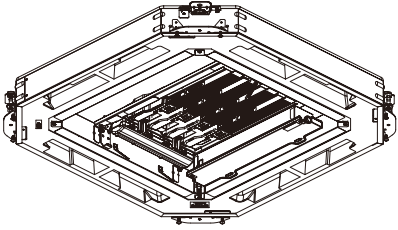




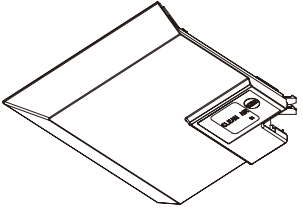
運転停止後、すぐに電源を切らない。

- 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になります。

清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、元電源を切る。

- 感電の原因になります。

## 1. 部品の確認 (この箱の中には本説明書と下記部品が入っています)

品名	① 「ヘルスエアー機能」搭載クリーンユニット	② ネジ	③ 化粧パネル固定金具
個数	1	8 M5×12	4
形状			
	④ 加湿器接続用断熱材 (小)	⑤ 加湿器接続用断熱材 (大)	⑥ コーナーパネル
	2	6	1
	 t1.5×50×80 ※ 直付加湿器との併用時のみ使用	 t1.5×50×135 ※ 直付加湿器との併用時のみ使用	

## 2. 室内ユニット本体の据付

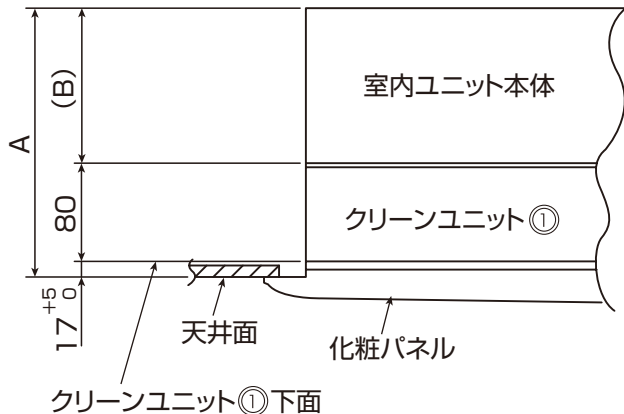
「ヘルスエアー機能」搭載クリーンユニット（以下クリーンユニット）を据付ける前に室内ユニット本体の現地配線（電源線・内外接続線・リモコン線など）を施工してください。

クリーンユニットを据付けた後では作業ができません。

● 室内ユニット本体の据付工事説明書を参照し、据付けてください。

据付けに際し、以下の点にご注意ください。

- 天井開口穴が860×860～910×910の範囲内か確認します。
- 据付けには下図のような寸法が必要です。



### お願い

配管接続部には点検口を設置する。

- 天井内および埋設配管の接続部には、点検が可能なように点検口などを設けてください。

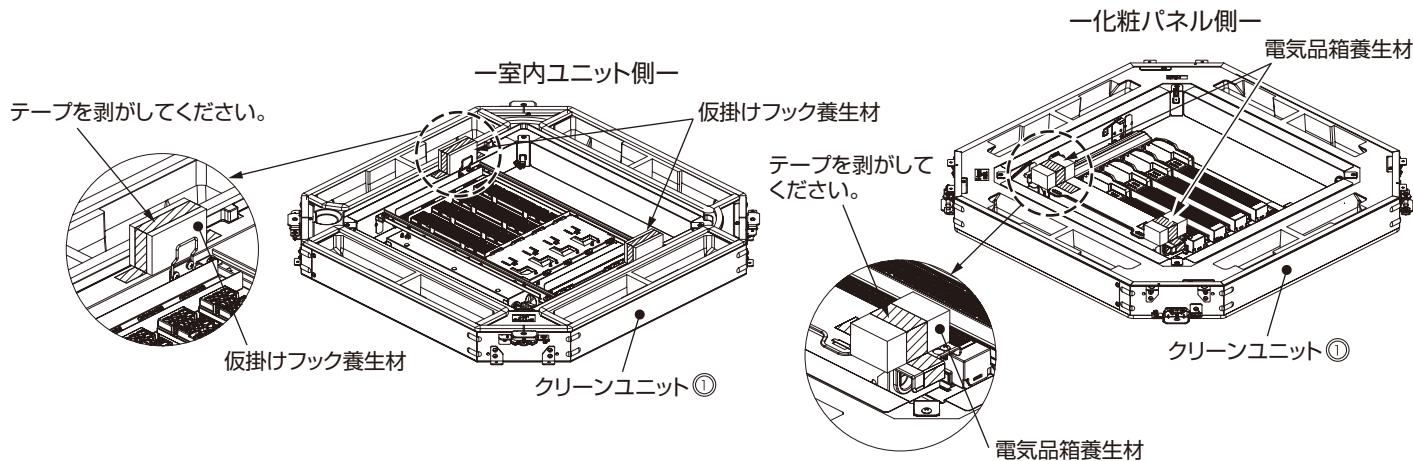
室内ユニット	A	(B)
小形機種	338	241
大形機種	378	281

※ ただし、室内ユニット天面と天井スラブなどの間は、7mm以上開けてください。

## 3. クリーンユニットおよび化粧パネル取付前の準備

### (1) クリーンユニット

仮掛けフック養生材／電気品箱養生材は、テープを剥がして取外してください。  
(取外した養生材は使用しません)



### (2) 化粧パネル

#### 吸込グリル/コーナーパネルの取外し

化粧パネルの据付工事説明書を参照してください。

#### 加湿器接続用断熱材の室内ユニットへの貼付け（直付加湿器との併用時のみ）

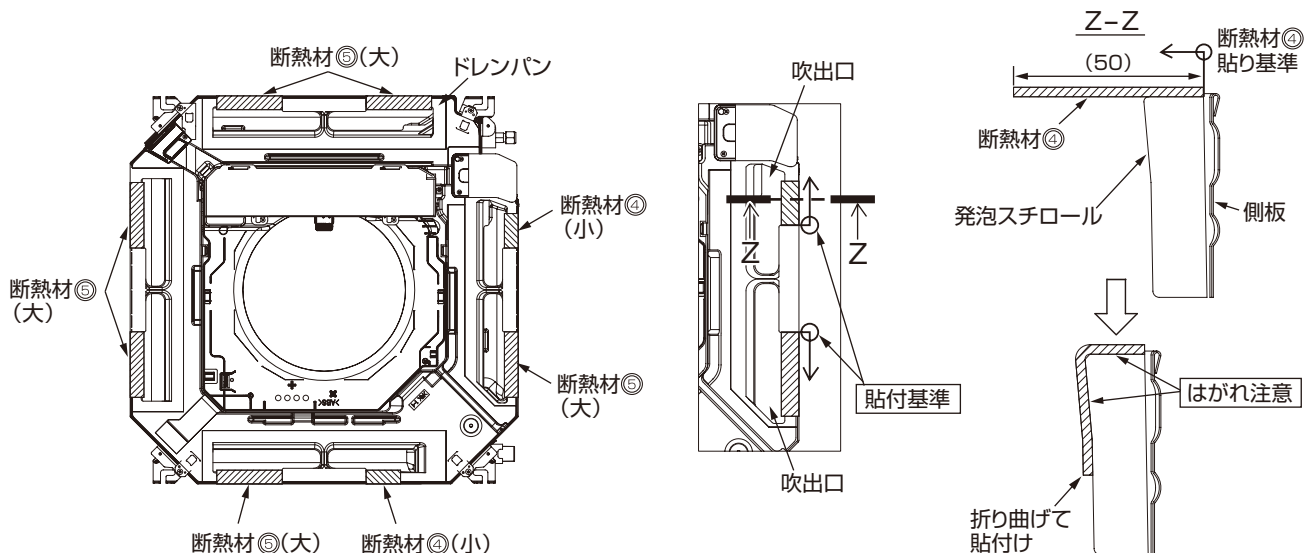
直付加湿器を併用する場合は必ず加湿器接続用断熱材（小）④ / （大）⑤を貼付けてください。

加湿器接続用断熱材（小）④ / （大）⑤の貼付けは、室内ユニット据付前に行ってください。

室内ユニット据付後の貼付けは難作業となります。

貼付け位置は次頁図を参照してください。

### 3. クリーンユニットおよび化粧パネル取付前の準備(つづき)



#### お願い

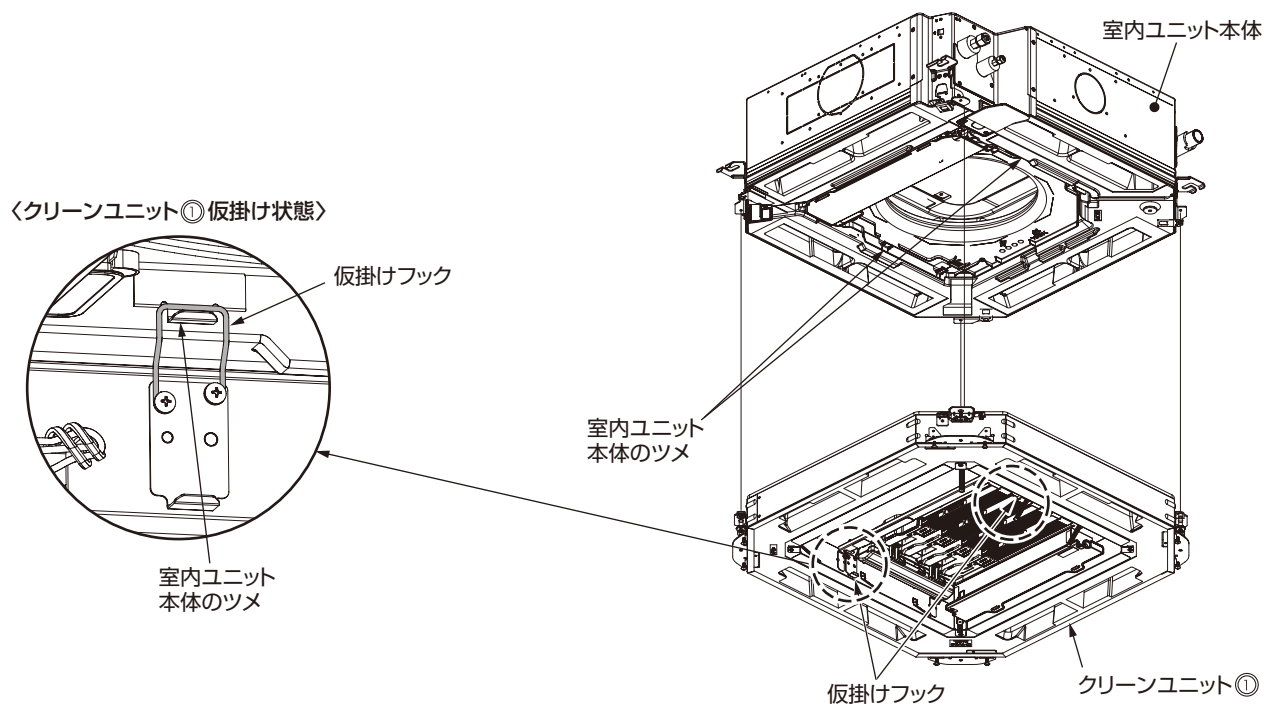
断熱材④/⑤ははがれないよう、確実に貼付けてください。貼付けに不備があると、露付き・露たれの原因になります。断熱材④/⑤はのり付き品です。貼付けるとはがれないため、貼付位置をよく確認したうえで貼付けてください。

### 4. クリーンユニットの取付

#### (1) クリーンユニットの仮掛け

下図のようにクリーンユニット①の仮掛けフックを室内ユニット本体のツメに引っ掛け、仮掛けします。

- リード線を室内ユニット本体との間にはさまないようにしてください。
- 仮掛け時には、クリーンユニット①に無理な力を加えないでください。事故や破損の原因になります。





## 4. クリーンユニットの取付(つづき)

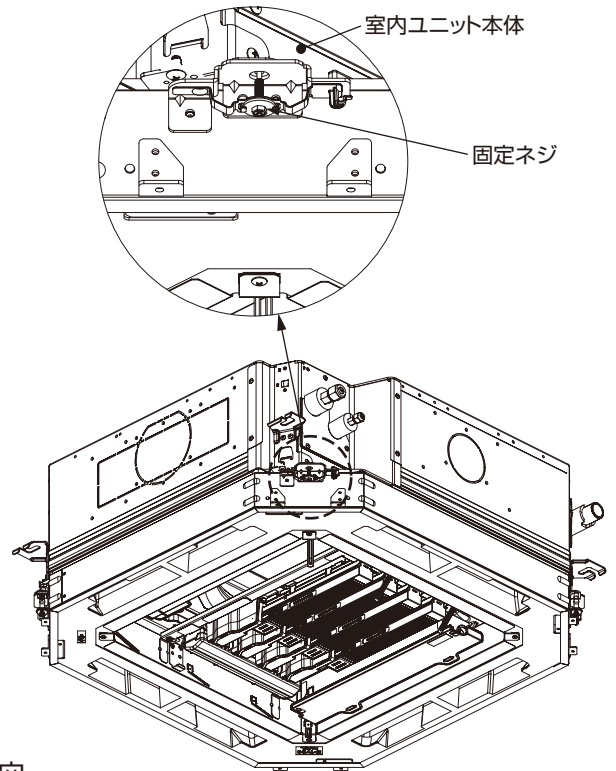
### (2) クリーンユニットの固定

各コーナー部の固定ネジを室内ユニット本体に締付けて、クリーンユニット①を固定します。

#### お願い

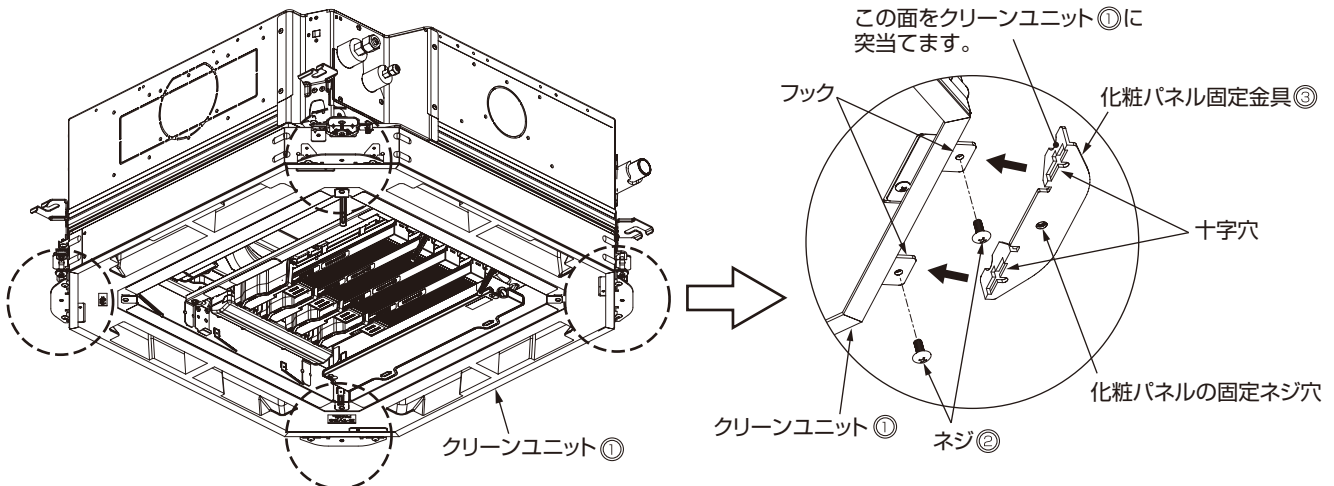
ネジを締付ける際にはトルク2.8~3.6N・mの範囲内で締付け、インパクトドライバーは使用しないでください。

- 部品が破損する原因になります。



### (3) 化粧パネル固定金具の取付

各コーナー部のフックに、化粧パネル固定金具③(4ヶ)の十字穴を挿入し、ネジ②(8本)にて固定します。(下図参照)



#### お願い

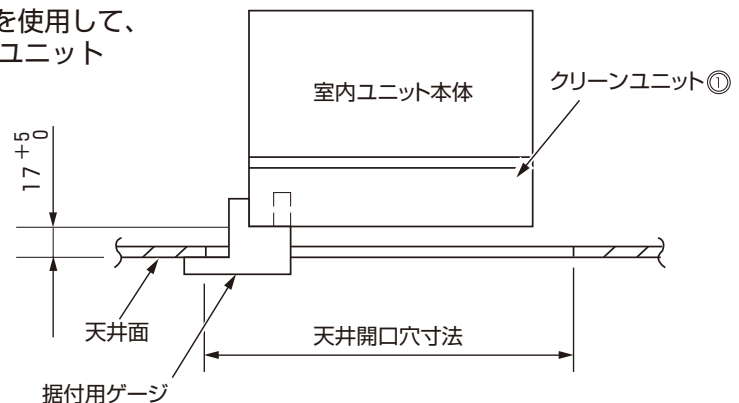
ネジを締付ける際にはトルク1.2~1.8N・mの範囲内で締付け、インパクトドライバーは使用しないでください。

- 部品が破損する原因になります。

### (4) 据付高さの調整

下図のように化粧パネル付属の据付用ゲージを使用して、天井面とクリーンユニット①の高さ位置を室内ユニット本体にて再調整します。

必ず17~22の範囲内とすること。  
この範囲が守られない場合、  
故障などの原因になります。

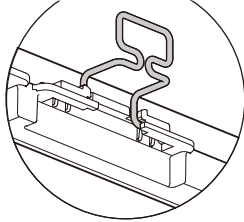


## 5. 化粧パネルの取付

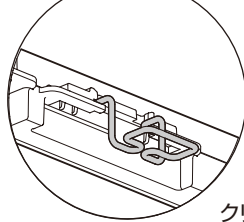
### (1) 化粧パネル仮掛けの準備

化粧パネルの仮掛けフック(2ヶ所)が立ち上がっていることを確認します。

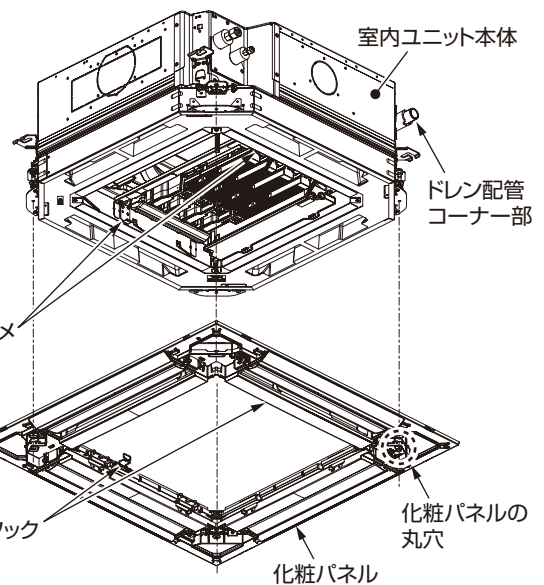
<フックが立ち上がっている状態>



<フックが下がっている状態>



クリーンユニット◎のツメ

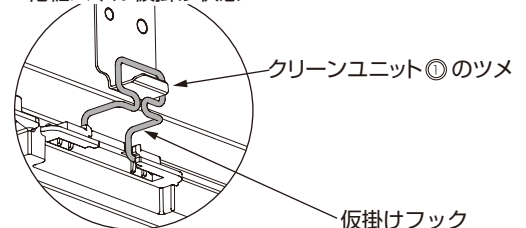


### (2) 化粧パネルの仮掛け

室内ユニット本体のドレン配管コーナー部と化粧パネルの丸穴があるコーナーの位置をあわせ、化粧パネルの仮掛けフックをクリーンユニット◎のツメに引っ掛け、仮掛けします。

- 化粧パネルとクリーンユニット◎のリード線をはさまないようにしてください。
- 仮掛け時には、化粧パネルに無理な力を加えないでください。事故や破損の原因になります。

<化粧パネル仮掛け状態>



### (3) 化粧パネルの固定

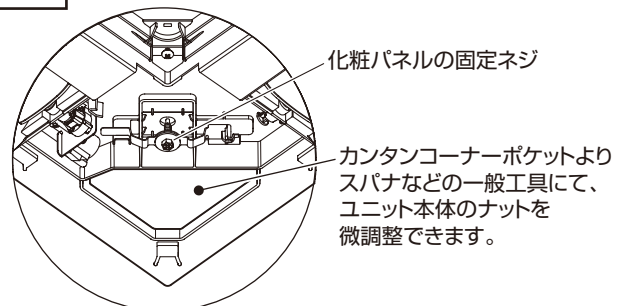
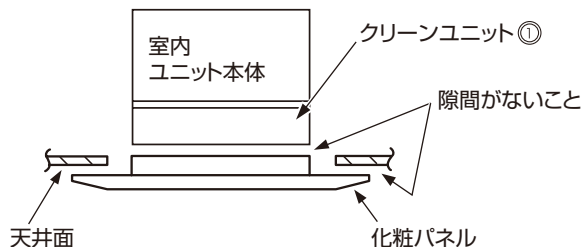
化粧パネルの各コーナー部の固定ネジをクリーンユニット◎に締付けて、化粧パネルを固定します。

- クリーンユニット◎と化粧パネルの間および化粧パネルと天井面の間に隙間がないようにしてください。

#### お願い

ネジを締付ける際にはトルク2.8~3.6N・mの範囲内で締付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。

- 部品が破損する原因になります。



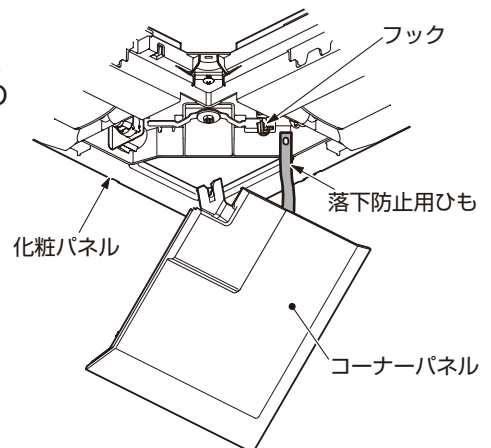
- 天井との隙間が生じた場合  
化粧パネルを取付けたまま、室内ユニット本体の据付け高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。

### (4) コーナーパネルの固定

コーナーパネルの取付けは化粧パネルの据付工事説明書を参照してください。落下防止用のひもが付いているコーナーパネルは、ひもを確実に化粧パネルのフックに引っ掛けてください。

- 確実に引っ掛けていないと、コーナーパネルが運転中に落下するおそれがあります。

※クリーンユニット付属のコーナーパネル◎取付けは9ページ、ワイヤレス受光部コーナーパネル取付けは10ページ、ムーブアイセンサーコーナーパネル取付けは12ページを参照してください。



## 6. 配線接続

### (1) 室内ユニット本体の電気品カバー取外し

室内ユニット本体の電気品カバーを固定しているネジ(2本)をゆるめ、電気品カバーを長手方向にスライドさせて開きます。

### (2) クリーンユニット①の電気品カバー取外し

クリーンユニット①の電気品カバーを固定しているネジ(2本)をゆるめ、電気品カバーを短手方向にスライドさせて開きます。

### (3) クリーンユニット①の電源用リード線接続

1) クリーンユニット①の電源用リード線をクランプから取外し室内ユニットの端子盤に確実に接続します。

①スリム機種(スリムK機種を除く)の場合【図3】  
内外接続用端子盤の「S1」「S2」端子へ接続してください。

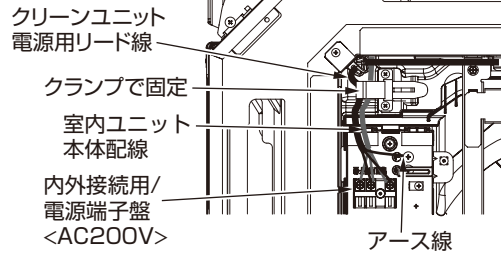
②スリム機種で電源配線接続方式が内外別受電方式または室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式の場合【図4】  
電源端子盤(別売)の「R」「S」端子へ接続してください。

③マルチ機種(スリムK機種を含む)の場合【図3】  
電源端子盤の「R」「S」端子へ接続してください。

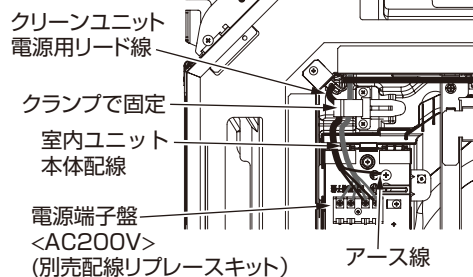
2) クリーンユニット①用アース線を室内ユニット本体電気品箱内に付属のネジにて $1.6 \pm 0.1$  N.mのトルクで締付け固定します。

室内ユニット  
本体電気品箱

【図3】



【図4】



アース工事を行う。

●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

お願い

直付加湿器と併用する場合は、室内ユニット本体の内外通信線・電源線はVVFケーブルを使用してください。

●端子盤のネジのゆるみの原因になります。

3) 配線を室内ユニット本体に取付けのクランプで固定します。

### (4) クリーンユニット①の通信用リード線接続

1) クリーンユニット①の通信用リード線をクランプから取外し、室内ユニット本体制御基板のCN105コネクタ(赤色5極)に確実に接続します。

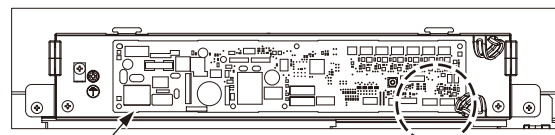
●クリーンユニット①のクランプはクリーンユニット①に押付けてください。

クランプが飛び出していると化粧パネルや電気品カバーと干渉するおそれがあります。

●CN105(赤色5極)コネクタを使用する別売部品を併用する場合は、下図を参照して別売部品のコネクタをクリーンユニット制御基板のCN105(赤色5極)コネクタに接続してください。

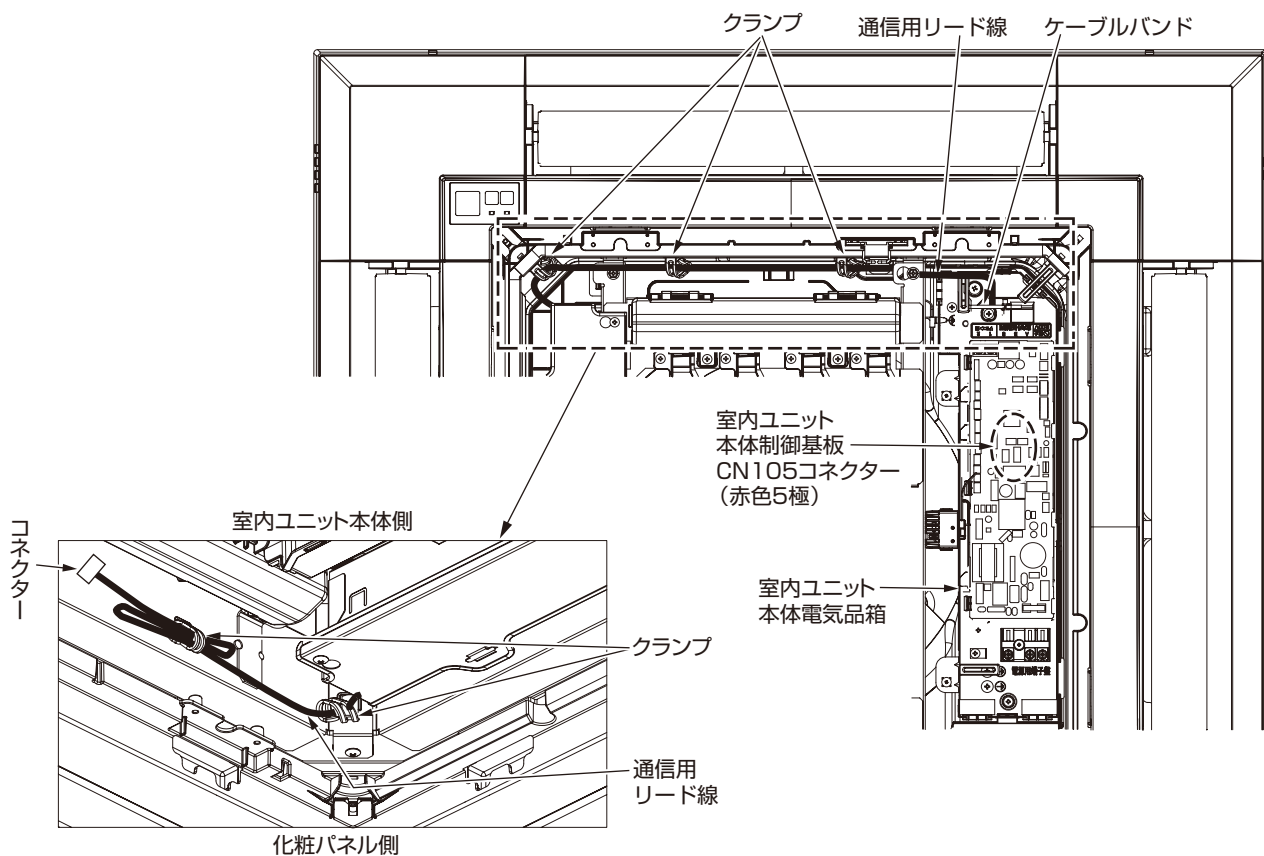
※クリーンユニット制御基板のスイッチ設定変更が必要です。

(14ページ参照)



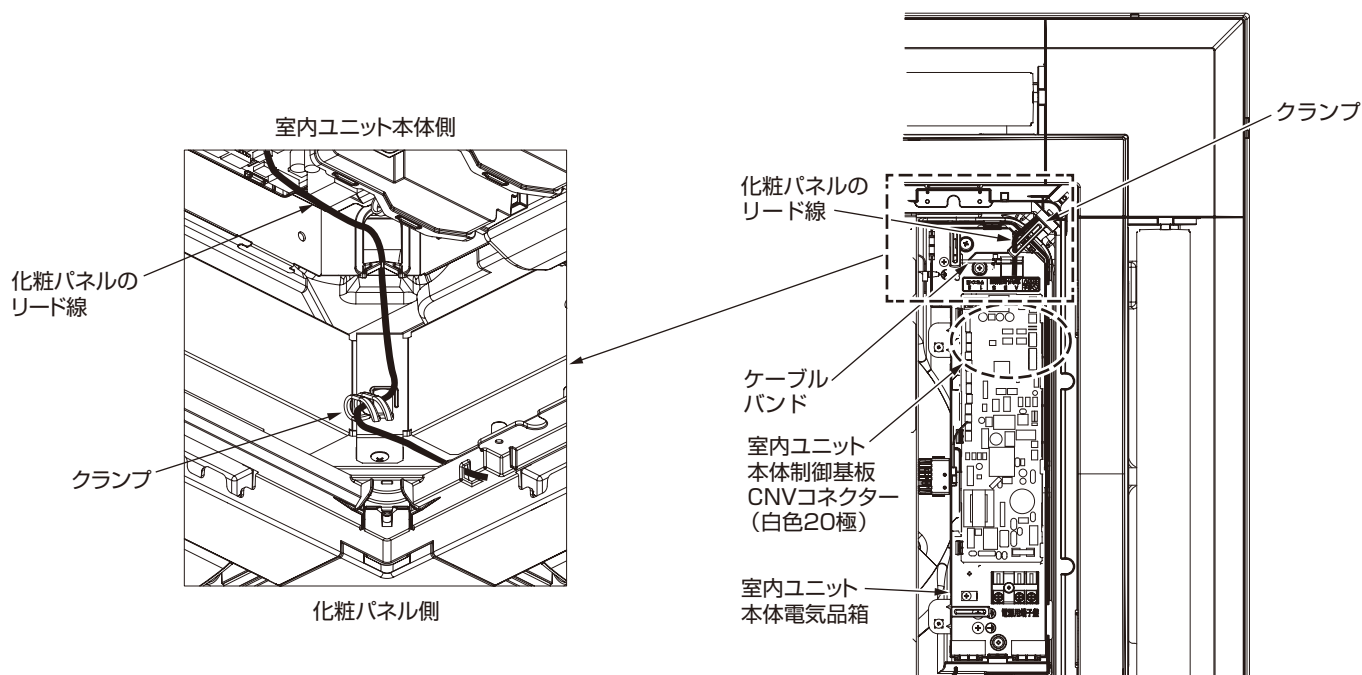
## 6. 配線接続 (つづき)

- 2) クリーンユニット⑩の通信用リード線は、クリーンユニット⑩のクランプおよび室内ユニット本体電気品箱内のケーブルバンドに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。



### (5) 化粧パネルベーンモータのリード線接続

- 化粧パネルのベーンモータのリード線を室内ユニット本体制御基板のCNVコネクタ (白色20極) に確実に接続します。
- 化粧パネルのベーンモータのリード線は、クリーンユニット⑩のクランプおよび室内ユニット本体電気品箱内のケーブルバンドに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。
  - クリーンユニット⑩のクランプはクリーンユニット⑩に押付けてください。クランプが飛び出していると化粧パネルや電気品カバーと干渉するおそれがあります。

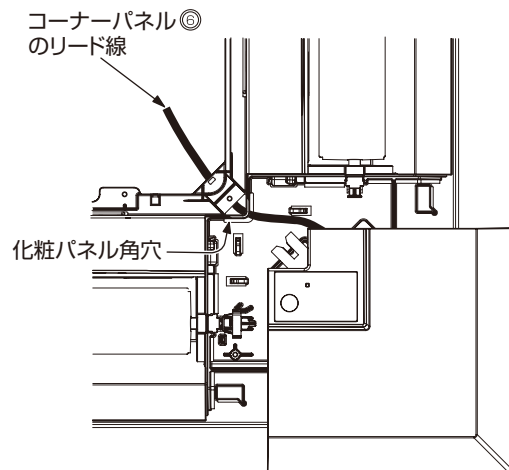
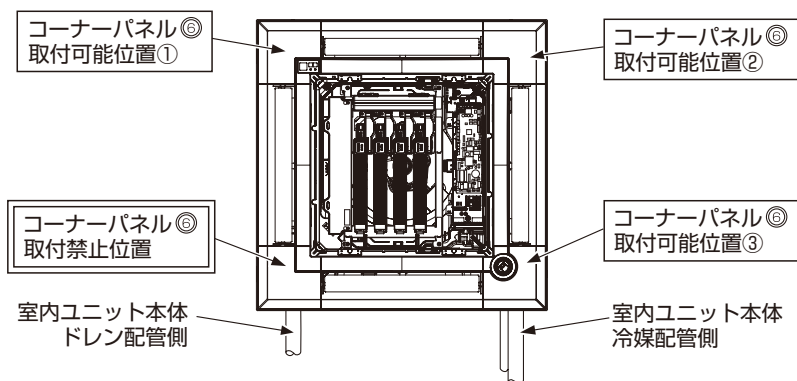




## 6. 配線接続 (つづき)

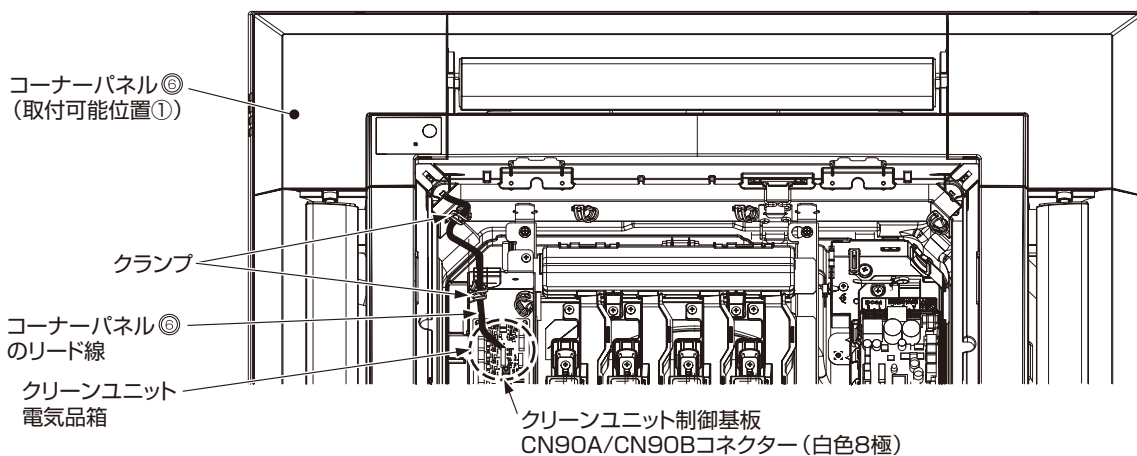
### (6) コーナーパネル⑥の取付けとリード線接続

コーナーパネル⑥は下記3ヶ所に取付可能です。

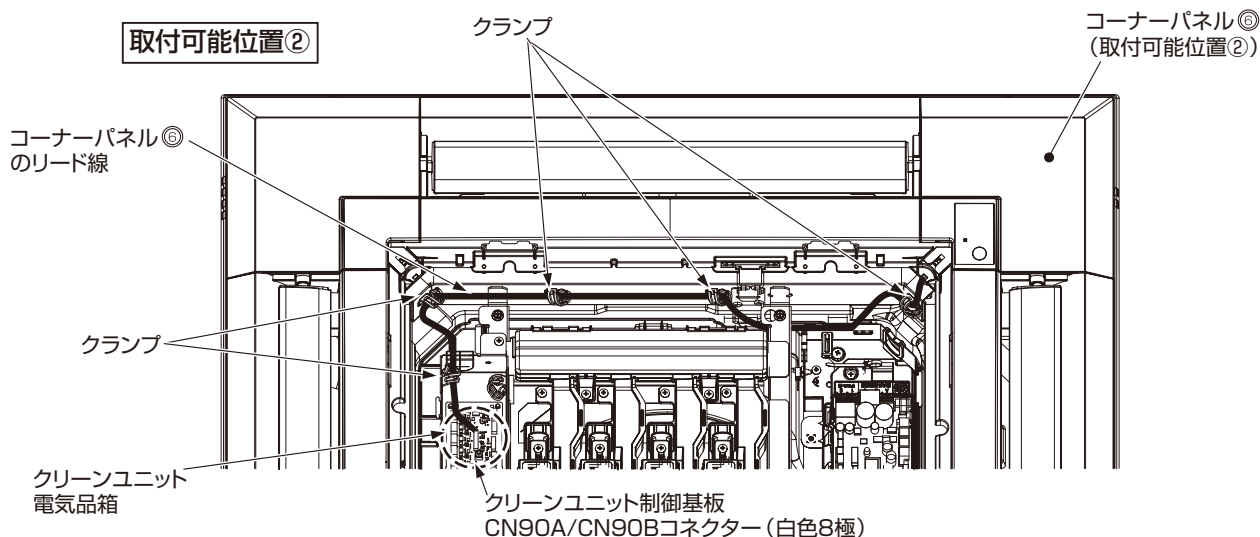


- 1) コーナーパネル⑥のリード線を、化粧パネルの角穴に通します。
- 2) コーナーパネル⑥のリード線をクリーンユニット制御基板のCN90A/CN90Bコネクタ（白色8極）に確実に接続します。
- 3) コーナーパネル⑥のリード線は、クリーンユニット①のクランプに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。  
● クリーンユニット①のクランプはクリーンユニット①に押付けてください。  
クランプが飛び出していると化粧パネルや電気品カバーと干渉するおそれがあります。
- 4) コーナーパネル⑥をネジで固定します。  
※表示部の保護シートは取付け後、はがしてください。

#### 取付可能位置①



#### 取付可能位置②



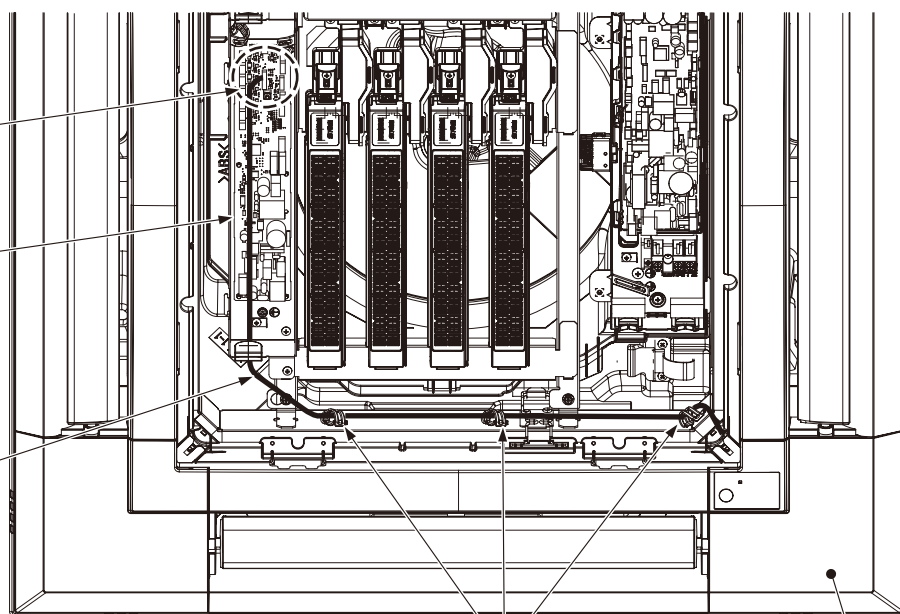
## 6. 配線接続 (つづき)

取付可能位置③

クリーンユニット制御基板  
CN90A/CN90Bコネクター  
(白色8極)

クリーンユニット電気品箱

コーナーパネル◎  
のリード線

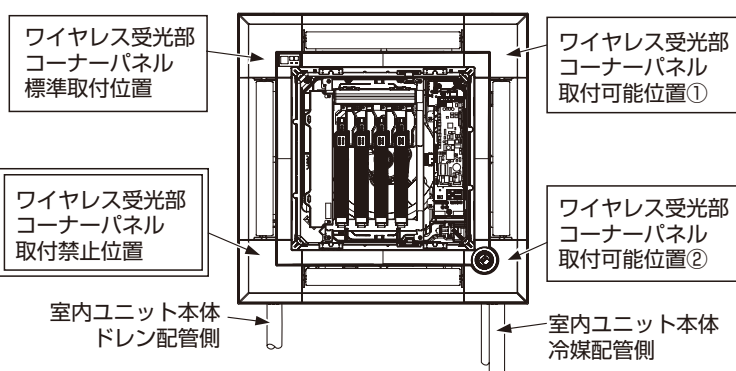


クランプ

コーナーパネル◎  
(取付可能位置③)

### (7) ワイヤレス受光部コーナーパネルの取付けとリード線接続

ワイヤレス受光部コーナーパネルは標準取付位置と右記2ヶ所に取付可能です。

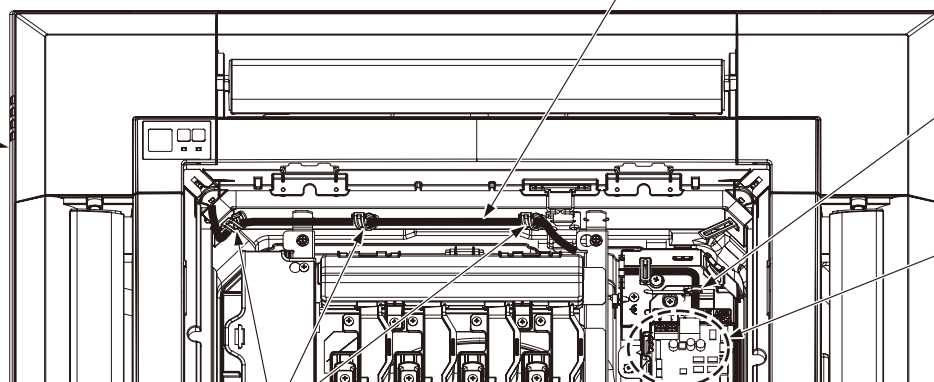


- 1) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線を、(6)と同様に化粧パネルの角穴に通します。
- 2) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線を室内ユニット本体制御基板のCN90コネクター(白色9極)に確実に接続します。
- 3) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線は、クリーンユニット◎のクランプや、室内ユニット本体電気品箱内のケーブルバンドなどに固定して、たるみのないように電気品箱に収めます。
  - クリーンユニット◎のクランプはクリーンユニット◎に押付けてください。
  - クランプが飛び出していると化粧パネルや電気品カバーと干渉するおそれがあります。
- 4) ワイヤレス受光部コーナーパネルをネジで固定します。

標準取付位置の場合

ワイヤレス受光部  
コーナーパネルのリード線

ワイヤレス受光部  
コーナーパネル  
(標準取付位置)

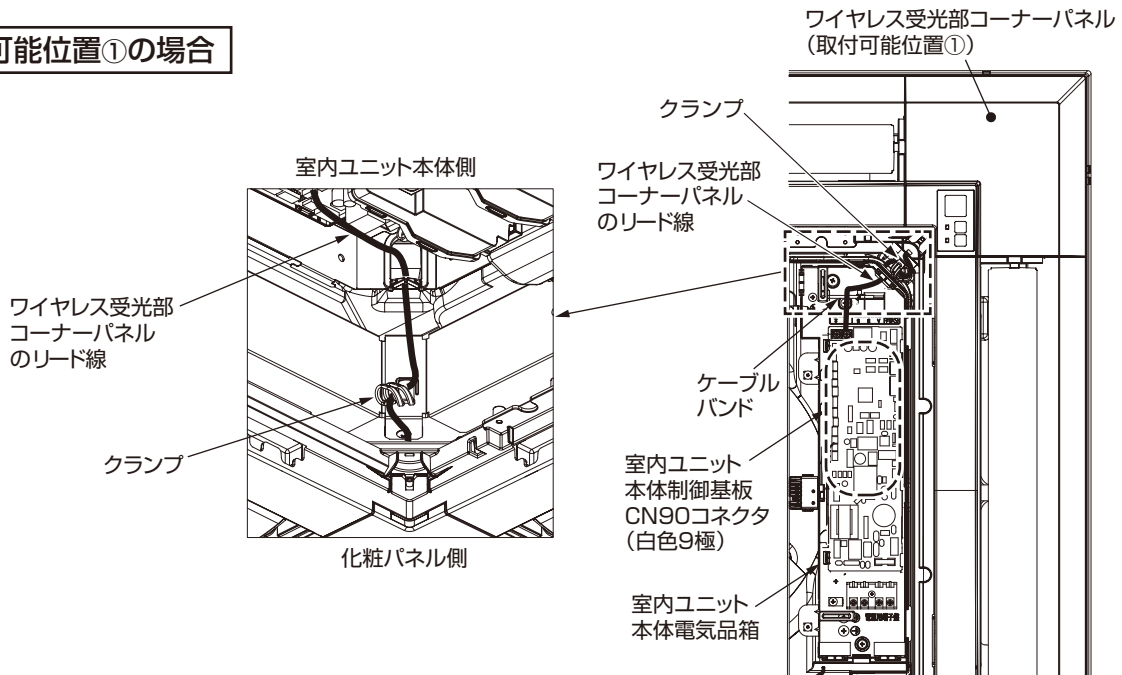


クランプ

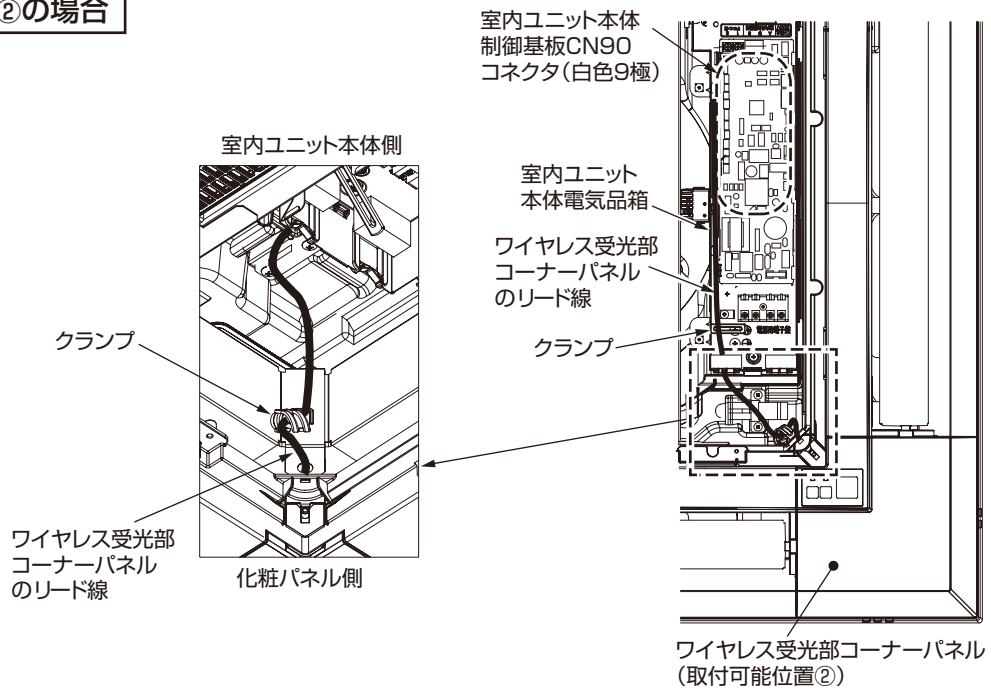
室内ユニット本体電気品箱

## 6. 配線接続 (つづき)

### 取付可能位置①の場合



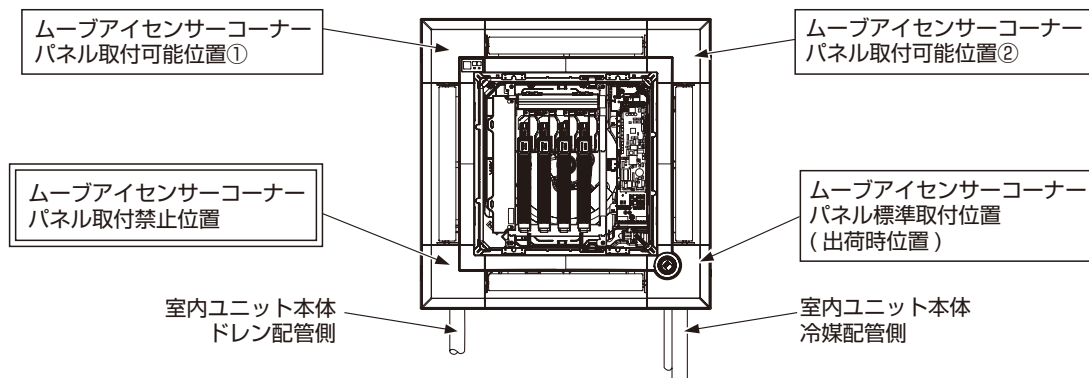
### 取付可能位置②の場合



## 6. 配線接続 (つづき)

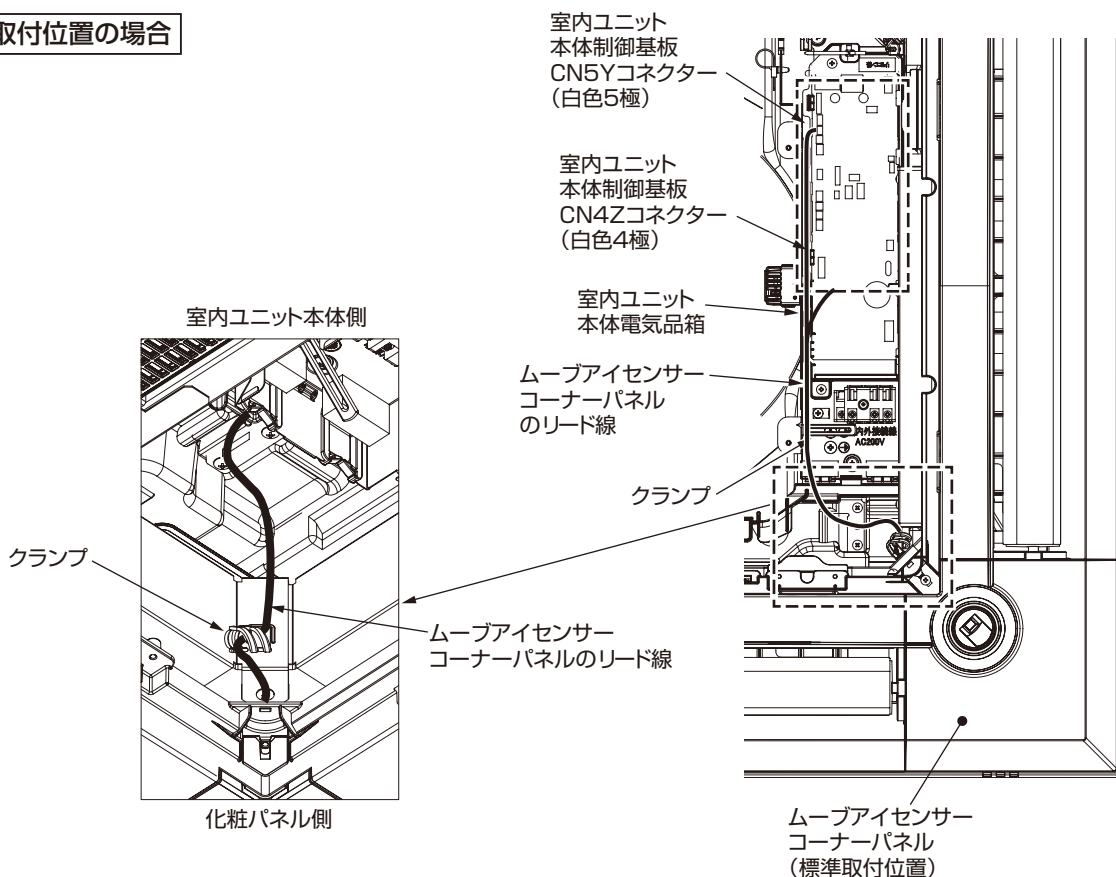
### (8) ムーブアイセンサーコーナーパネルの取付けとリード線接続

ムーブアイセンサーコーナーパネルは標準取付位置と下記2ヶ所に取付可能です。



- 1) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線を、(6)と同様に化粧パネルの角穴に通します。
- 2) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線を、室内ユニット本体制御基板のCN4Zコネクター (白色4極)、CN5Yコネクター (白色5極) に確実に接続します。
- 3) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線はクリーンユニット①のクランプや室内ユニット本体電気品箱内のクランプなどに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。
  - クリーンユニット①のクランプはクリーンユニット①に押付けてください。クランプが飛び出していると化粧パネルや電気品カバーと干渉するおそれがあります。
- 4) ムーブアイセンサーコーナーパネルをネジで固定します。

#### 標準取付位置の場合

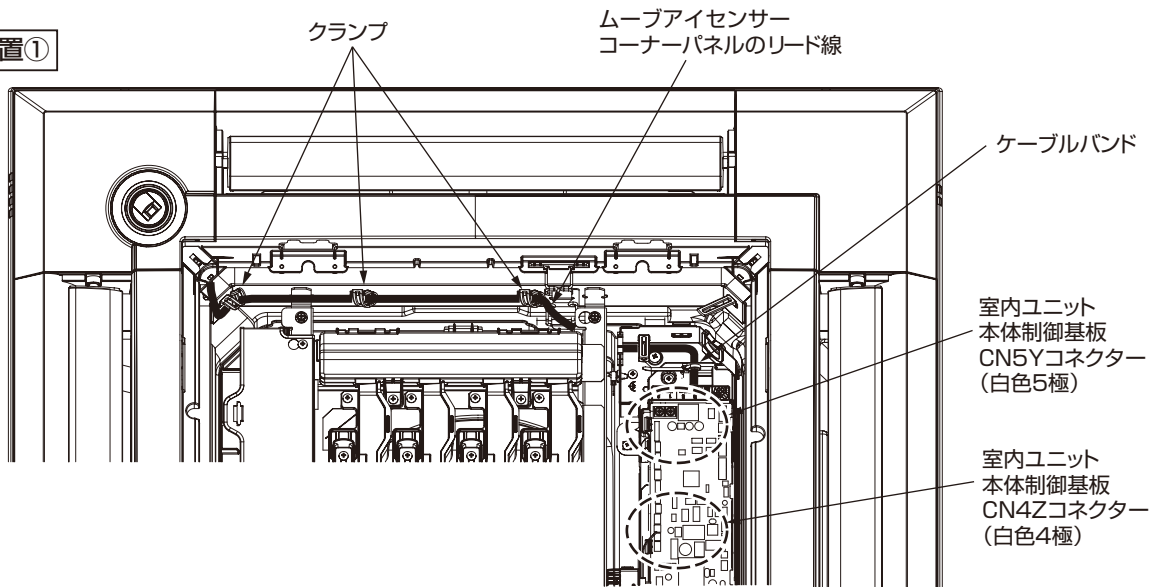




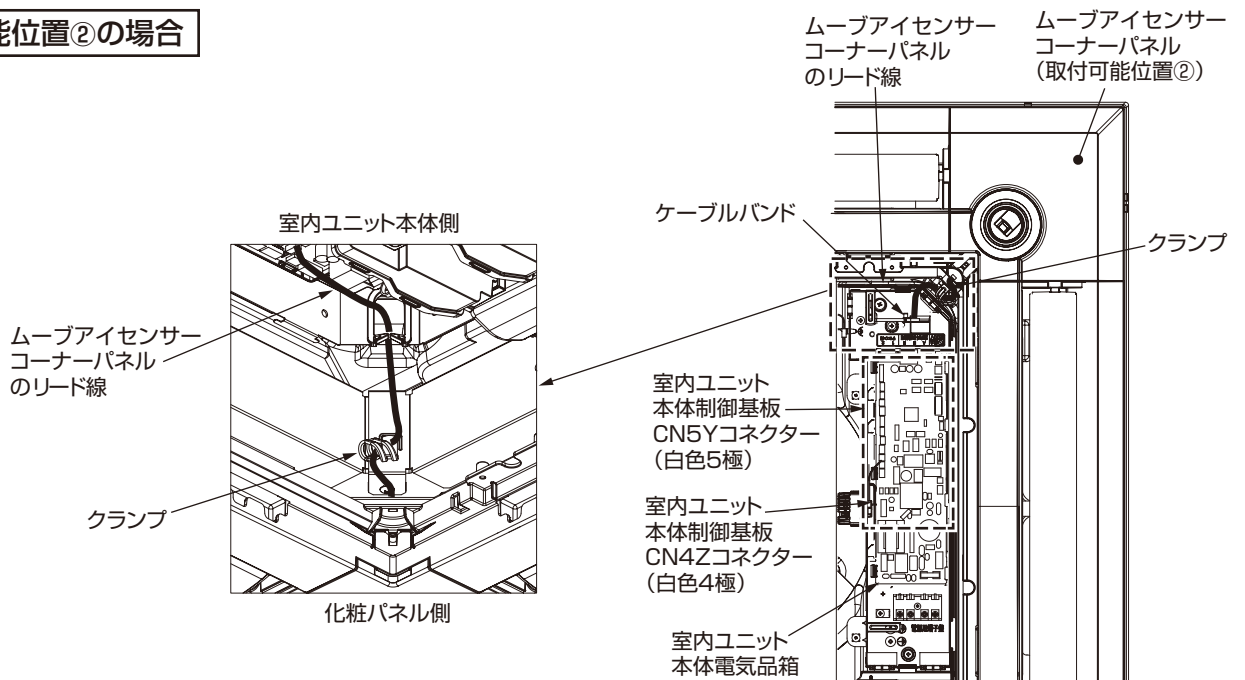
## 6. 配線接続 (つづき)

### 取付可能位置①の場合

取付可能位置①



### 取付可能位置②の場合



- ムーブアイセンサーコーナーパネル位置を標準取付位置以外へ変更した場合  
設定の変更が必要なため、ムーブアイセンサーパネルの据付工事説明書を確認してください。

## 7. 吸込グリルの取付

化粧パネルの据付工事説明書を参照してください。

## 8. 据付工事後の確認

### 共通事項

室内ユニット本体とクリーンユニット①と化粧パネル、化粧パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。

- 隙間があると露たれや露付の原因になります。

配線接続が確実にされていることを確認します。

- 接続されていないと上下風向ベーンやクリーンユニットの動作不良、露たれや露付きの原因になります。

### ムーブアイセンサーコーナーパネルと併用の場合

ムーブアイセンサーパネルの場合、ムーブアイの回転動作を確認してください。

- ムーブアイが回転しない場合は、**6. 配線接続**の作業を再確認してください。

### 直付加湿器と併用の場合

加湿器接続用断熱材(小)④/(大)⑤を室内ユニット本体に貼付けてあることを確認してください。

下記の方法で室内ユニット本体の機能設定を変更してください。

接続可能な室内ユニットについてはカタログを参照いただくか、販売店へお問い合わせください。

- スリム機種の場合（スリムK機種を除く）

リモコンからの設定となりますので、室内ユニット本体の据付工事説明書の**リモコンによる機能選択**の項を参照し、以下の設定を行ってください。

- 加湿器組込み”有り”に設定（モード番号:13、設定番号:2）
- オプション組込み”有り”に設定（モード番号:10、設定番号:2）

- マルチ機種の場合（スリムK機種を含む）

室内ユニット本体の制御基板のディップスイッチの設定を行ってください。

- SW3の2番を**ON**側に設定（工場出荷時は**OFF**）
- SW21の5番を**ON**側に設定（工場出荷時は**OFF**）

制御基板のスイッチの配置は室内ユニット本体の電気配線図をご参照ください。

### M-NET接続用インターフェースなどCN105コネクターを使用する別売部品と併用の場合

クリーンユニット制御基板のディップスイッチの設定を行ってください。

- SW1の1番を**ON**側に設定（工場出荷時は**OFF**）

上記項目を確認した後、この説明書と室内ユニット本体および別売部品の説明書などの一式全てをお客様へ渡してください。その際、この説明書に記載された電気集塵デバイスの清掃および室内ユニットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃について必ず説明してください。

#### お願い

フィルターを外したまま運転をしないでください。

- 内部に油・ゴミが詰まり、故障の原因になります。

#### お願い

試運転以外での長時間の運転はおやめください。

- 建築中の現場などで長時間運転しますと、ほこりやにおいが付着する場合があります。

## 9. 試運転

### ■ 試運転の前に

- 室内・室外ユニットの据付工事説明書を確認し、室内・室外ユニットの試運転後に実施してください。
- アース接続されていることを確認してください。

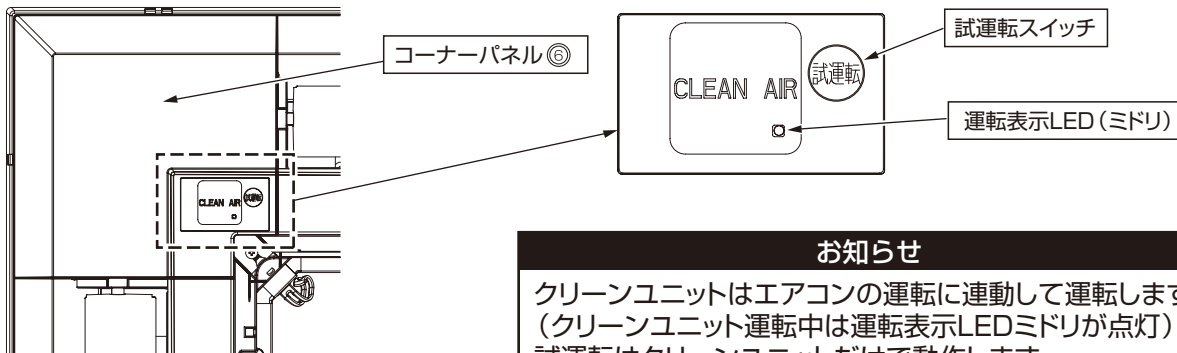
### ■ 試運転方法

- (1) コーナーパネル⑥の試運転スイッチを2秒以上長押ししてください。  
コーナーパネル⑥の運転表示LED (ミドリ) が点灯します。
- (2) 自動で試運転を実施します。  
約10秒後、試運転が終了し、コーナーパネル⑥の運転表示LED (ミドリ) が消灯します。

正常に動作しない場合は、下記原因が考えられますので原因を取り除いてください。

※運転表示LED (ミドリ) が点滅した場合、元電源を切ってから作業してください。

症状	原因
LED (ミドリ) が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源用リード線が正しく接続されていない</li> <li>• コーナーパネル⑥のリード線が正しく接続されていない</li> <li>• リモコンに異常コードが表示されている</li> </ul>
LED (ミドリ) が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電気集塵デバイスがぬれている、汚れている</li> </ul>



#### お知らせ

クリーンユニットはエアコンの運転に連動して運転します。  
(クリーンユニット運転中は運転表示LEDミドリが点灯)  
試運転はクリーンユニットだけで動作します。

## 10. お手入れのしかた



**注意**

清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、元電源を切る。

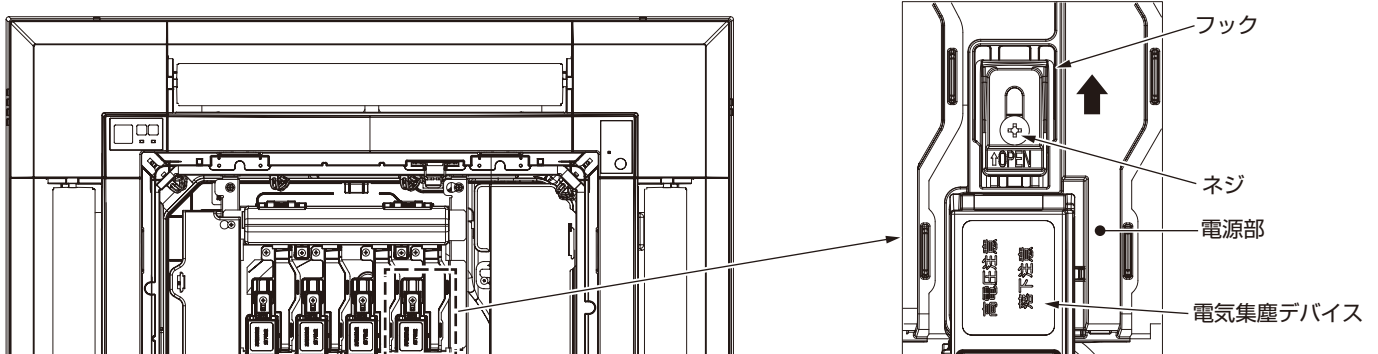
- 感電の原因になります。

#### お願い

- 電気集塵デバイスの清掃はお買い上げの販売店もしくは専門の業者に依頼してください。お客様自身で行い、不備があると動作不良や感電の原因になります。
- クリーンユニットの運転中に電気集塵デバイスを取り外すと異常停止する場合があります。お手入れの際は元電源を切ってください。

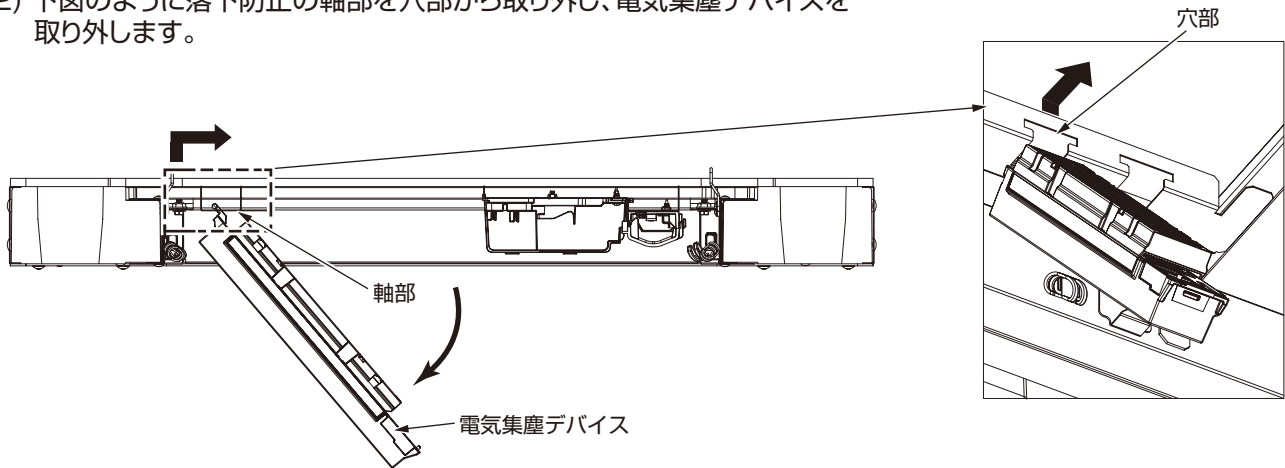
### (1) 電気集塵デバイスの取り外し

- 1) ネジを緩めてから、フックを矢印方向へスライドさせます。

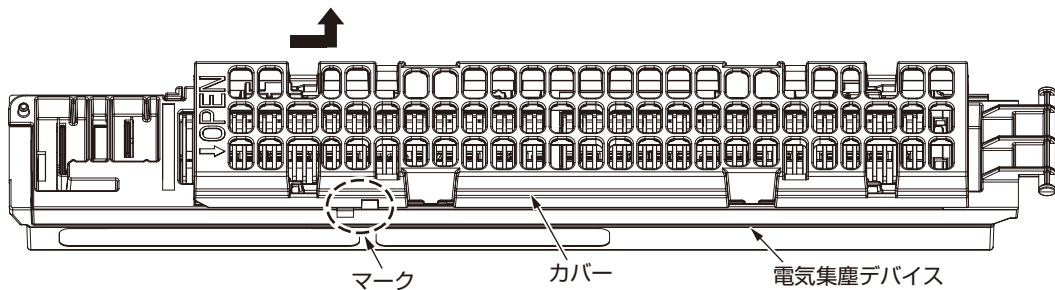


## 10. お手入れのしかた(つづき)

2) 下図のように落下防止の軸部を穴部から取り外し、電気集塵デバイスを取り外します。



※ 電気集塵デバイスのカバーは取外せません。取外す場合は下図のように矢印方向へスライドさせて取外します。取付けのときは電気集塵デバイスとカバーのマークの位置を合わせて取付けてください。



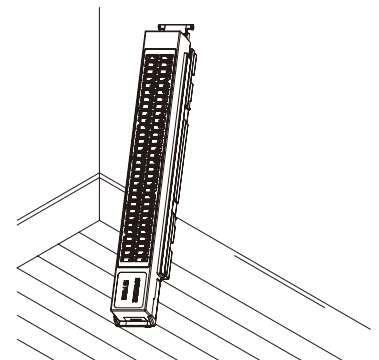
### (2) 電気集塵デバイスの清掃

お手入れ時期の目安は約3ヶ月毎です。据付環境の空気条件によって汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

- 1) 水に約15分間つけ置きします。  
汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした30℃～45℃のぬるま湯を使用してください。
- 2) つけ置き後は、ためた水の中で上下左右に軽くゆすり、よくすすぎます。
  - 油汚れやタバコのヤニなどがとれにくいときは、1～2の手順を2～3回繰り返してください。
  - 中性洗剤を使用した場合は、水で良くすすいでください。
- 3) 風通しのよい日陰でよく乾かします。
  - 右図のように立てて乾かしてください。

#### お願い

- 3か月ごとに汚れを確認し、気になる場合はお手入れをしてください。
- 漂白剤は使わないでください。
- 分解しないでください。(カバーは除く)
- ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。  
(熱で変形する場合があります)
- 完全に乾燥してから取付けてください。



### (3) 電気集塵デバイスの取付け

取り外しと逆の手順で取付けます。

#### お願い

- 電気集塵部は4つ全て取付けてください。
- 取付け後は試運転を実施してください。